



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 戸田工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4100 URL http://www.todakogyo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寶來 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 上野 基康 TEL 082-577-0055
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 ー
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	33,147	△3.5	△611	ー	△1,307	ー	△5,285	ー
2019年3月期	34,354	4.8	299	△78.1	412	△65.5	△0	ー

(注) 包括利益 2020年3月期 △5,681百万円 (ー%) 2019年3月期 △691百万円 (ー%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	△917.09	ー	△36.6	△2.8	△1.8
2019年3月期	△0.08	ー	△0.0	0.9	0.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 △663百万円 2019年3月期 46百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	43,870	12,590	26.2	1,997.25
2019年3月期	48,262	18,408	36.1	3,021.81

(参考) 自己資本 2020年3月期 11,511百万円 2019年3月期 17,409百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	2,259	△239	△120	5,542
2019年3月期	128	△1,747	1,146	3,760

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	ー	20.00	ー	20.00	40.00	230	ー	1.3
2020年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー
2021年3月期(予想)	ー	0.00	ー	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点で合理的な業績予測の算出が困難であることから未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響により、現時点で合理的に算出することが困難であることから未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の合理的な算出が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年3月期	6,099,192株	2019年3月期	6,099,192株
2020年3月期	335,307株	2019年3月期	337,956株
2020年3月期	5,763,180株	2019年3月期	5,760,142株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	20,957	△12.1	△1,177	—	△1,601	—	△4,544	—
2019年3月期	23,841	△3.6	△19	—	217	△87.8	△351	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	△788.55	—
2019年3月期	△61.10	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年3月期	36,549		10,503		28.6	1,813.81		
2019年3月期	41,533		15,289		36.7	2,646.39		

(参考) 自己資本 2020年3月期 10,454百万円 2019年3月期 15,246百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響により、現時点で合理的に算出することが困難であることから未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の合理的な算出が可能となった時点で速やかに開示いたします。なお、詳細につきましては、添付資料P3.「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2020年6月5日に当社ウェブサイトに掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する事項)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く事業環境は、米中間の貿易摩擦や中国経済の減速、英国のEU離脱問題等を背景に不透明な状況で推移してきましたが、さらに年明け以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、金融市場では動揺が続くとともに、個人消費や企業活動の自粛が始まる等、経済・社会活動は停滞しており、世界経済の減速懸念は一層高まる状況となりました。

こうした状況のもと、当社グループにおきましては、リチウムイオン二次電池市場拡大に伴う需要の増加により、電池関連材料の売上が伸長しているものの、中国をはじめとする世界経済の減速の影響等を受け、基幹事業である磁石材料及び着色材料の国内外の需要が低迷したことから、売上高は33,147百万円（前期比3.5%減）となりました。

利益面においては、売上商品構成の変化による限界利益の減少等により、営業損失は611百万円（前期は営業利益299百万円）となりました。

営業外収支については、持分法適用関連会社において固定資産の減損を行ったこと等の影響により、持分法による投資損失663百万円を計上したこと等から、経常損失は1,307百万円（前期は経常利益412百万円）となりました。

また、特別損失において、電子素材事業の固定資産における減損損失2,592百万円、環境対策引当金繰入額1,094百万円等があり、親会社株主に帰属する当期純損失5,285百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失0百万円）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(機能性顔料)

世界経済の減速の影響等を受け、国内外の需要が低迷したことから、売上高は前期比8.1%減の14,186百万円となり、セグメント利益は前期比26.0%減の1,491百万円となりました。引き続き販路拡大及びコスト削減を進めて環境の変化に対応してまいります。

(電子素材)

基幹事業である磁石材料等の需要が低迷したものの、リチウムイオン二次電池市場拡大に伴う需要の増加により、電池関連材料の売上が伸長したことから、売上高は前期比0.4%増の19,411百万円となりました。セグメント利益については、需要の増加に伴い、工場の生産性が向上したこと等から、前期比65.5%増の786百万円となりました。今後につきましても環境変化の激しい市場動向を注視し、当社グループでの生産体制を整備することで機会損失を防ぎ、さらなる拡大を目指してまいります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産は43,870百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,392百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が1,759百万円増加したものの、貸付金が1,025百万円、有形及び無形固定資産が3,209百万円、投資有価証券が508百万円減少したこと等によります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は31,279百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,426百万円増加いたしました。これは主に、借入金が219百万円、環境対策引当金が1,095百万円、その他固定負債が445百万円増加したこと等によります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は12,590百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,818百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失5,285百万円、配当金の支払い115百万円、為替換算調整勘定の減少260百万円等によります。

以上の結果、1株当たりの純資産は前期比1,024.56円減少して1,997.25円となり、自己資本比率は前期比9.9ポイント減少して26.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は5,542百万円となり、前連結会計年度末より1,781百万円増加いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは2,259百万円（前期は128百万円）となりました。これは主に、減価償却費1,725百万円、減損損失2,592百万円、環境対策引当金の増減額1,094百万円、持分法による投資損益663百万円等による資金の増加が、税金等調整前当期純損失4,904百万円等による資金の減少を上回ったこと等によります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは△239百万円（前期は△1,747百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,519百万円等による資金の減少が、利息及び配当の受取額158百万円、貸付金の回収による収入1,024百万円等による資金の増加を上回ったこと等によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは△120百万円（前期は1,146百万円）となりました。これは主に、短期借入金純増減額690百万円、長期借入金等の返済による支出3,616百万円、利息の支払額214百万円、配当の支払額115百万円等による資金の減少が、長期借入れによる収入4,560百万円等による資金の増加を上回ったこと等によります。

(4) 今後の見通し

今後の景気の先行きにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、収束の時期や感染拡大による影響が全く見通せないため、非常に不透明感の強い状況にあります。

当社グループにおきましても、中国における子会社及び関連会社は規制解除により操業を再開しておりますが、国内外のお客様の操業停止やサプライチェーンの混乱等、業績に与える影響度やその期間が見通せず、現時点では合理的な業績予測の算出が困難な状況にあります。

このような状況のため、2021年度3月期連結業績予想については、未定とさせていただきます。今後、合理的な予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

なお、2021年3月期配当予想につきましても、上記業績予想と併せ開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づく連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,853	5,612
受取手形及び売掛金	8,618	8,226
商品及び製品	3,745	3,775
仕掛品	1,965	1,654
原材料及び貯蔵品	1,858	1,518
その他	1,604	326
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	21,638	21,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,806	3,061
機械装置及び運搬具(純額)	4,312	2,673
土地	6,357	6,342
リース資産(純額)	30	21
建設仮勘定	720	225
その他(純額)	333	608
有形固定資産合計	15,561	12,932
無形固定資産		
のれん	68	32
その他	762	217
無形固定資産合計	830	250
投資その他の資産		
投資有価証券	3,995	3,487
関係会社出資金	3,551	3,492
長期貸付金	1,719	1,715
退職給付に係る資産	12	—
その他	956	883
貸倒引当金	△3	—
投資その他の資産合計	10,232	9,579
固定資産合計	26,624	22,762
資産合計	48,262	43,870

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,710	3,584
短期借入金	9,005	8,280
1年内返済予定の長期借入金	3,116	3,544
リース債務	10	19
未払法人税等	82	141
賞与引当金	320	292
環境対策引当金	—	1,095
その他	1,613	1,338
流動負債合計	17,861	18,296
固定負債		
長期借入金	9,162	9,678
リース債務	32	25
退職給付に係る負債	2,081	2,165
繰延税金負債	628	581
その他	86	531
固定負債合計	11,992	12,982
負債合計	29,853	31,279
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,477	7,477
資本剰余金	8,892	8,886
利益剰余金	1,776	△3,624
自己株式	△1,525	△1,512
株主資本合計	16,620	11,227
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	340	201
為替換算調整勘定	402	142
退職給付に係る調整累計額	46	△58
その他の包括利益累計額合計	789	284
新株予約権	43	49
非支配株主持分	956	1,029
純資産合計	18,408	12,590
負債純資産合計	48,262	43,870

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	34,354	33,147
売上原価	29,656	28,602
売上総利益	4,698	4,544
販売費及び一般管理費		
販売運賃	630	578
従業員給料手当	1,049	1,014
賞与引当金繰入額	75	64
退職給付費用	59	68
減価償却費	104	147
研究開発費	509	1,240
その他	1,969	2,043
販売費及び一般管理費合計	4,398	5,156
営業利益又は営業損失(△)	299	△611
営業外収益		
受取利息	53	46
受取配当金	57	45
受取賃貸料	39	36
為替差益	42	—
持分法による投資利益	46	—
雑収入	110	91
営業外収益合計	350	218
営業外費用		
支払利息	201	214
為替差損	—	21
持分法による投資損失	—	663
雑損失	36	15
営業外費用合計	237	914
経常利益又は経常損失(△)	412	△1,307
特別利益		
固定資産処分益	23	96
投資有価証券売却益	—	0
受取補償金	21	44
特別利益合計	44	141

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別損失		
固定資産処分損	108	51
減損損失	—	2,592
投資有価証券売却損	—	0
環境対策引当金繰入額	—	1,094
特別損失合計	108	3,738
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	348	△4,904
法人税、住民税及び事業税	183	231
法人税等調整額	27	16
法人税等合計	211	247
当期純利益又は当期純損失(△)	137	△5,152
非支配株主に帰属する当期純利益	138	133
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△0	△5,285

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	137	△5,152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△187	△139
為替換算調整勘定	△302	△232
退職給付に係る調整額	△197	△105
持分法適用会社に対する持分相当額	△142	△52
その他の包括利益合計	△829	△529
包括利益	△691	△5,681
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△764	△5,789
非支配株主に係る包括利益	72	108

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,477	8,897	2,007	△1,546	16,835
当期変動額					
剰余金の配当			△230		△230
親会社株主に帰属する 当期純損失			△0		△0
連結子会社の株式の取得 による持分の変動		2			2
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分		△7		22	14
株主資本以外の項目の当 期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△5	△230	20	△215
当期末残高	7,477	8,892	1,776	△1,525	16,620

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	為替換算調整 勘定	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計			
当期首残高	528	781	243	1,553	42	1,111	19,542
当期変動額							
剰余金の配当							△230
親会社株主に帰属する 当期純損失							△0
連結子会社の株式の取得 による持分の変動							2
自己株式の取得							△2
自己株式の処分							14
株主資本以外の項目の当 期変動額(純額)	△187	△379	△197	△764	0	△154	△918
当期変動額合計	△187	△379	△197	△764	0	△154	△1,134
当期末残高	340	402	46	789	43	956	18,408

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,477	8,892	1,776	△1,525	16,620
当期変動額					
剰余金の配当			△115		△115
親会社株主に帰属する 当期純損失			△5,285		△5,285
連結子会社の株式の取得 による持分の変動					—
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		△5		14	8
株主資本以外の項目の当 期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△5	△5,400	13	△5,392
当期末残高	7,477	8,886	△3,624	△1,512	11,227

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	為替換算調整 勘定	退職給付に係 る調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計			
当期首残高	340	402	46	789	43	956	18,408
当期変動額							
剰余金の配当							△115
親会社株主に帰属する 当期純損失							△5,285
連結子会社の株式の取得 による持分の変動							—
自己株式の取得							△1
自己株式の処分							8
株主資本以外の項目の当 期変動額 (純額)	△139	△259	△105	△504	5	73	△425
当期変動額合計	△139	△259	△105	△504	5	73	△5,818
当期末残高	201	142	△58	284	49	1,029	12,590

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	348	△4,904
減価償却費	1,677	1,725
減損損失	—	2,592
のれん償却額	35	35
環境対策引当金の増減額(△は減少)	—	1,094
各種引当金の増減額	△54	△31
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	82	1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△134	6
受取利息及び受取配当金	△111	△91
支払利息	201	214
為替差損益(△は益)	△28	△10
持分法による投資損益(△は益)	△46	663
固定資産処分損益(△は益)	91	△43
売上債権の増減額(△は増加)	△616	301
たな卸資産の増減額(△は増加)	△912	489
仕入債務の増減額(△は減少)	367	△31
その他	△301	357
小計	599	2,371
役員退職慰労金の支払額	△38	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△431	△111
営業活動によるキャッシュ・フロー	128	2,259
投資活動によるキャッシュ・フロー		
利息及び配当金の受取額	155	158
投資有価証券の取得による支出	△119	△1
関係会社株式の取得による支出	△597	—
有形固定資産の取得による支出	△1,992	△1,519
有形固定資産の売却による収入	106	110
無形固定資産の取得による支出	△63	△14
関係会社出資金の払戻による収入	140	—
貸付けによる支出	△48	—
貸付金の回収による収入	570	1,024
その他	100	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,747	△239

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	349	△690
長期借入れによる収入	5,050	4,560
長期借入金等の返済による支出	△3,588	△3,616
利息の支払額	△201	△214
配当金の支払額	△230	△115
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△2	△1
非支配株主への配当金の支払額	△34	△24
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△196	—
その他	—	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,146	△120
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△567	1,781
現金及び現金同等物の期首残高	4,328	3,760
現金及び現金同等物の期末残高	3,760	5,542

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、当連結会計年度の期首よりIFRS第16号「リース」(2016年1月公表)(以下、IFRS第16号)を適用しております。これにより、借手は原則として全てのリースを資産及び負債として認識しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当連結会計年度の期首の有形固定資産のその他が12百万円、流動負債のその他が4百万円及び固定負債のその他が7百万円増加しております。なお、従来連結財務諸表の無形固定資産のその他に含めていた土地使用権461百万円については、有形固定資産のその他に含めて記載しております。

また、この変更による当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び経営成績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループの報告セグメントの区分は製品系列を基礎として製造方法、製造過程並びに販売市場の類似性を考慮して区分しており、「機能性顔料」、「電子素材」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な製品は次のとおりです。

(1) 機能性顔料・・・・・・・・磁性粉末材料、各種着色材料

(2) 電子素材・・・・・・・・フェライト材料、リチウムイオン電池用正極材料、合成樹脂用安定剤等

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	機能性顔料	電子素材			
売上高					
外部顧客への売上高	15,427	18,926	34,354	-	34,354
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	409	426	△426	-
計	15,444	19,336	34,781	△426	34,354
セグメント利益	2,014	475	2,489	△2,190	299
セグメント資産	15,361	15,137	30,499	17,763	48,262
その他の項目					
減価償却費	604	833	1,437	239	1,677
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	487	1,679	2,167	193	2,360

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,190百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,190百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント資産の調整額は、事業セグメントに帰属しない資産であり主に共用資産、投資その他の資産が含まれております。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	機能性顔料	電子素材			
売上高					
外部顧客への売上高	14,171	18,976	33,147	-	33,147
セグメント間の内部売上高又は振替高	15	435	450	△450	-
計	14,186	19,411	33,597	△450	33,147
セグメント利益又は損失 (△)	1,491	786	2,277	△2,889	△611
セグメント資産	14,683	12,098	26,781	17,088	43,870
その他の項目					
減価償却費	541	931	1,472	252	1,725
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	528	646	1,175	44	1,219

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△2,889百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,887百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント資産の調整額は、事業セグメントに帰属しない資産であり主に共用資産、投資その他の資産が含まれております。
- 2 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	3,021.81円	1,997.25円
1株当たり当期純損失(△)	△0.08円	△917.09円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△0	△5,285
普通株主に帰属しない金額(百万円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△0	△5,285
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,760	5,763
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	－	－
普通株式増加数(千株)	－	－
(うち新株予約権(千株))	(－)	(－)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

(重要な後発事象)

該当事項はありません。